



本会議場で
21人の議員が一般質問



市政を問う

12月定例会での一般質問は、会派代表質問4人、個人質問17人の議員が行いました。その主な問答の要旨について各議員の要約原稿を掲載しました。(文責は各議員にあります。)なお、他の質問項目については、亀岡市議会のホームページでご覧いただけます。



幼児の野外活動「森のようちえん」(篠町)

問 ①防災会議への女性委員の積極登用は。②避難所運営に女性または女性職員の配置を。③災害時の後方支援や高齢者宅の訪問などきめ細やかな支援を実現するため、女性消防団員を積極的に登用すべきでは。④避難所運営訓練にHUG(避難所運営ゲーム)を取り入れ、地域と連携した災害時要援護者の参加者を含む防災訓練を。

答 ①女性委員の拡充については今後検討をする。②市が指定する収容避難所55箇所のうち15名の女性職員を配置している。③受け入れら



代表質問

■公明党議員団

日高省子 議員



女性の視点からの防災対策を進めるべき

れる環境整備を整えていく。④今後研究していく。

問 青少年の健全育成に亀岡の自然を生かした体験学習を取り入れるべき

答 温もりのある心を持ち、ふるさとを大事にする子ども

問 亀岡市教育振興基本計画の策定に際し、ふるさと学習・亀岡学に農林業体験学習を盛り込んで

答 計画づくりに着手し、今後、亀岡学の充実を図っていく。地域の自然や人、文化とふれあい、農林体験や伝統文化を学ぶ体験活動を網羅した基本計画を策定したい。

問 「森のようちえん」のように、自然を生かした生きる力を養う幼児教育を新幼稚園に取り入れては。

答 幼少期に自然とふれあうことは、心と体のバランスの取れた発達、豊かな感性を育む上で重要。今後も亀岡の豊かな自然を生かした教育を進める。



JR並河駅鉄道歴史公園の促進協看板と新幹線

問 北陸新幹線が、この京都丹波を通ること(新京都駅設置)は、正に亀岡の夜明け。今、北陸新幹線は、西に向いて着々と延伸し、平成26年には金沢まで延伸、金沢から敦賀までは既にルート決定され、政府の着工認可を待つ段階。いよいよ、敦賀以西のルートの議論が始まった。

この春、九州新幹線も鹿児島まで開通し、沿線は大きな賑わいを見せている。

休眠中の北陸新幹線口丹波建設促進協議会(口丹波2市1町で構成)も早急に意見集約し、要望活動を展開すべき。



代表質問

■改革かめおか

西村 克己 議員



問 北陸新幹線は東海道新幹線の代替機能として関西経済圏にとって必要。京都府への平成24年度の予算要望にも入れている。今後も、府及び関係機関に働きかけ、決意を新たに展開していきたい。



問 阪神淡路大震災から既に16年。しかし未だ阪神淡路大震災のがれき約1200m³が種田野町に野積みされたまま放置されている。勿論、撤去責任は行為者であるが、本人には、金銭的、体力的にその能力はない。行政が撤去すべき。一方、東日本でも同様の不正が懸念される。事実を国に報告すべき。

答 当然処理してもらおうべきもの。京都府での処理を前提に協議を続ける。また、国が指導的な役割を果たされるよう、今後も訴えていきたい。